

## BOB会東北支部「歩こう会」活動報告

### 8月7日（水）宮城県登米市「伊豆沼ハス祭り見学ツアー」

当初は8月21日実施予定でしたが、今年は暑さのせいでハスの花の開花が早まっているとの情報もあり、二週間前倒しで8月7日（水）実施する事にしました。

JR東北本線新田駅から歩いてハス祭り遊覧船乗り場へ行き乗船しました。しかし7月下旬の大雨で伊豆沼の水位が150cmも上がり、蓮の花もすっかり水没してしまいました（令和4年7月にも大雨で今年のような状況になった）。それでも蓮の花はつぼみも多く見られ参加者も、花も自然には叶わないよねって。しかし沼の右手側には雨にも負けずに蓮の花の茎が1m50cmにもなっていました。水没を免れたハスでした。参加した皆さんもまた訪れる機会が出来た事に感謝です。お昼は「くんぺる農場レストラン」にてお肉中心の料理に満足していました。もともとこのレストランはオーナーが肉屋さんなのです。

食事の後は、お隣にある直売マーケットで、伊豆沼ハム・ソーセージや地元野菜などを買い求めて、14時に解散致しました。

<中鉢：記>

<参加者>：8名

桜井勝男、石黒秀雄、齊藤修、南洞稔、阿部善幸、前田健二、畠山廣、中鉢孝男

宮城県県北に位置する伊豆沼・内沼は、1985年にラムサール条約湿地に登録されました。この地域は冬でも凍結しないため、多くの水鳥が越冬する場所として知られています。また、夏には湖面いっぱいにハスの花が咲き、多様な生物が生息しています。

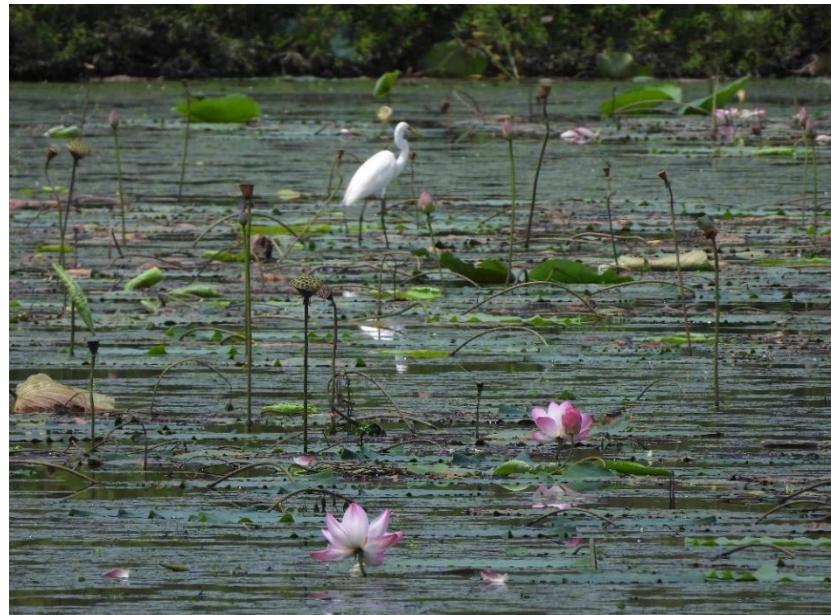


遊覧船乗り場の手前で、見事なハスの花の大群に歓待されました。



桟橋の向こうに遊覧船が  
4艘待機していました。

本来なら桟橋周辺もハスの花が咲いている筈でしたが、この通り水没して立ち枯れた蓮が寂しく一面を覆っています。  
それでも逞しく何輪かの蓮の花が咲いています。



いよいよ乗船して「ハスの花」を見学に。約40分の遊覧船。今日の案内役は  
「モコ丸」高山勝之船頭さんです。



本来は蓮の花で埋め尽くされている中を遊覧する筈ですが、水が引いたあとは、ご覧の通りで、蓮の実だけが寂しく立っています。

辛うじて残った蓮のつぼみ（2番子）は、これからお盆に掛けて花を開くそうです。



伊豆沼には菱の実も多く自生しています。写真中央から右側は菱の葉です。

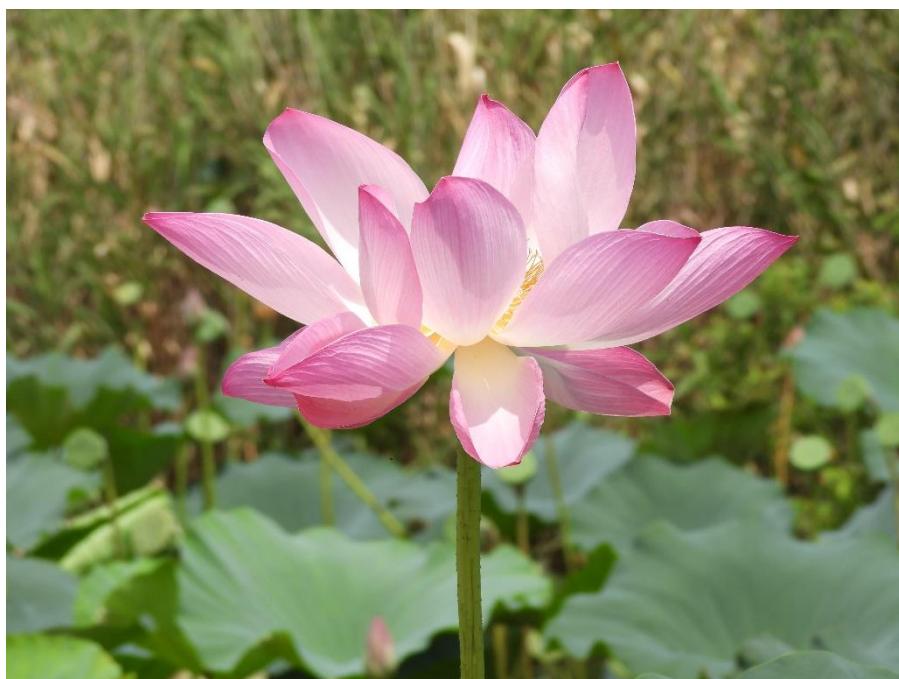


船頭さんの計らいで、少し高台にあって水没を免れた地域に案内して貰いました。

蓮の茎は約2mにもなっていて凛とした花を咲かせていました。

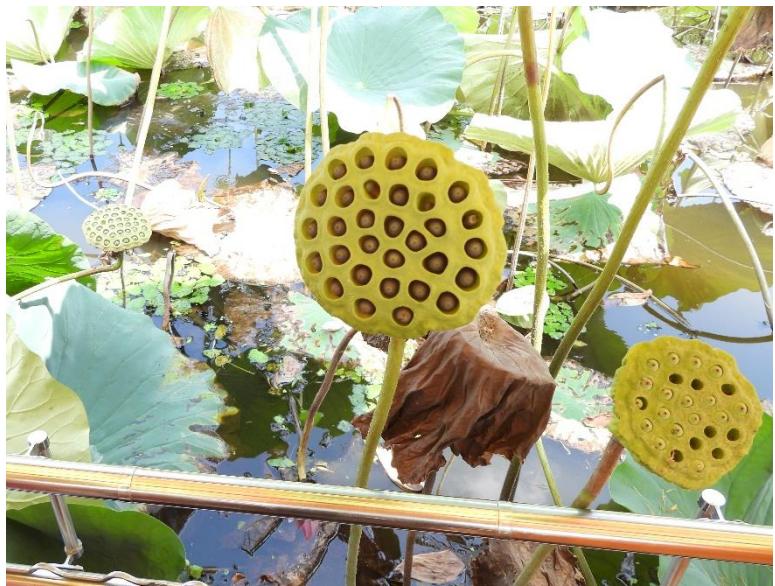


伊豆沼の蓮花の美しさは日本一と言われています。





次々とつぼみも出てきています。



舟の周りには、既に咲き終わった蓮の実が大きな顔を向けています。



約40分の遊覧船も終了して桟橋に到着ました。お疲れ様でした。



桟橋入口周辺の蓮の花の群生。せめてこれくらい咲いていてくれれば。



近くの「くんぺる農場レストラン」で食事を楽しんでから解散しました。